



操作マニュアル
ProDevice GDX02シュレッダー

目次

1. 製品仕様と付属品04
2. 梱包材の取り外し04
3. 製品概要05
4. 技術仕様06
5. ストレージメディアの破壊06
6. 動作上の注意点08
7. 安全上のご注意点08
8. メンテナンス10

ProDevice DGX02をご購入いただきありがとうございました。

本機は、ハードディスクドライブ(HDD)、ソリッドステートドライブ(SSD)、磁気テープ、スマートフォン・タブレット(バッテリーの取り外しが必要)、フロッピーディスク等のストレージメディアの物理的破壊装置です。

本マニュアルをシュレッダー操作前に必ずお読み頂き本機を安全にご使用ください。

本マニュアルは、大切に保管してください。

本マニュアルに記載されている操作方法を厳密に順守してご使用ください。

※シュレッダー使用方法の逸脱は、装置の故障や事故につながる可能性があります。

シュレッダーを改造、分解しないでください。シュレッダーが改造された場合、シュレッダーの性能または操作上の安全性について当社は一切責任を負いません。

製品仕様は、予告なしに変更される場合があります。予めご了承ください。



操作マニュアル参照



目の保護具を着用



投入は最大2メディア



手を入れないでください

1. 製品仕様と付属品

- 閉じられたハウジング設計により操作の安全性の確保
- 緊急停止スイッチを装備
- 車両に搭載してオンサイト(訪問型)破壊サービスが可能
- 連続作業(5時間超)に適した強力なエンジン
- シンプルで直感的な制御システム

付属品

- 粉砕メディア収納用の耐久性のあるプラスチック容器
 - 22 mソケット付きラチェットソケットレンチ
 - カuttingブレード用オイル
 - Cuttingブレード用オイル用スプレー容器
 - 潤滑油 LITEN ED2
 - 潤滑油用カードリッジ (カードリッジグリースガン)
- ※) オイル、潤滑油が無くなりましたらお客様でお買い求めください。

2. 梱包材の取り外し

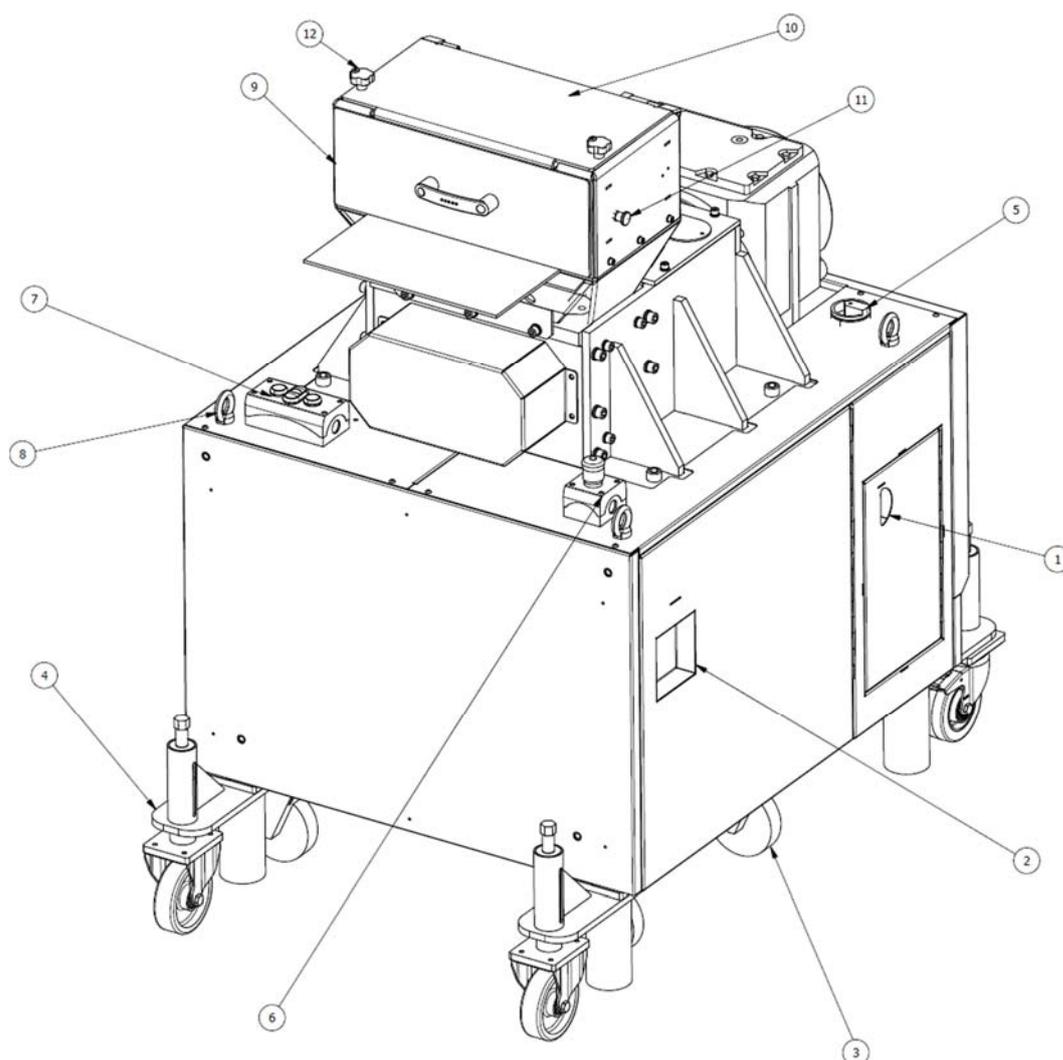
シュレッダーは、箱に入ったパレットで納品されます。パレットから取り除くためには、パレットトラックまたはフォークリフトが必要です。すべての梱包材を慎重に取り除き、製品仕様に記載されている内容物が含まれていることをご確認ください。梱包材を取り除いたら、輸送中の損傷がないか確認してください。シュレッダーまたは専用アクセサリのいずれかが損傷している場合は、出荷フォワーダーと製造元に報告してください。

すべての梱包材を取り除いたらしっかりした床面の設置場所にシュレッダーを置きます。シュレッダーを所定の位置に固定して動かないようにします。4本の柱で平行を保ち固定します。

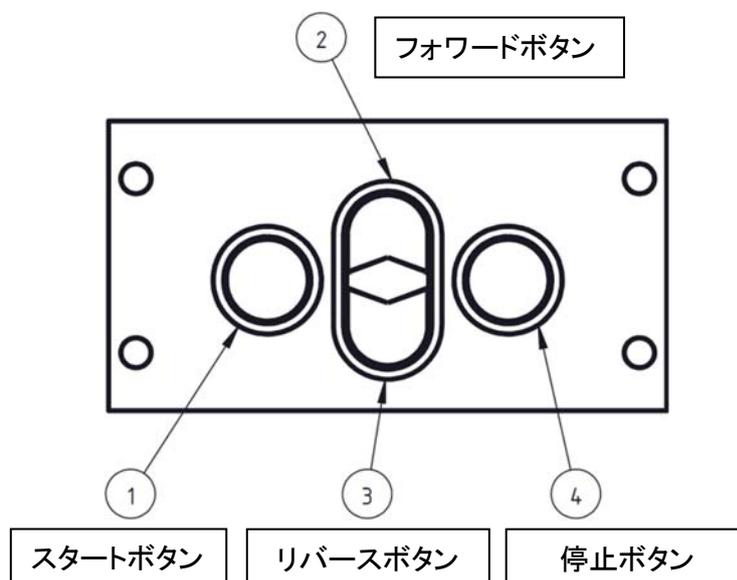
3. 製品概要

外観図

1. 電源コード収納部
2. 粉碎物収納部
3. 粉碎物収納容器
4. ドロップ車輪付き足
5. メインスイッチ
6. 緊急停止ボタン
7. 操作コントロールパネル
8. 輸送ボルト
9. メディア投入口
10. メディア投入上部ハウジング
11. メディア投入部ロック
12. メディア投入上部ハウジングロック



操作コントロールパネル



1. スタートボタン: シュレッダーの自動運転を開始
2. フォワードボタン: シュレッダーの手動操作を可能にします。
3. リバースボタン: シュレッダーブレードの回転方向を切り替えます。
4. 停止ボタン: 実行中の粉砕作業を停止します。

4. 技術仕様

- エンジン出力: 5,5 kW
- 電源: 3相 200 V 50 Hz
- セキュリティレベル: T-3, E-2, H-5, O-2
- 本体サイズ: W. 880 x D. 1000 x H. 1320
- 重量: 600 kg
- 破砕記憶媒体の収納プラスチック容器: 120リットル
- オイルコンテナ容量: 0,8 リットル

5. ストレージメディアの破壊

1. 粉砕物収納容器が粉砕物収納部内にあり、ドアが閉じていることを確認します。
2. 発電機の出力電圧が正常になる事を確認します。
3. 電源コード収納部から電源コードを取り出し、主電源コンセントに差し込みます。
4. メインスイッチを押してシュレッダーをオンにします。
5. メディア投入部ロックを外し、メディア投入口を開いて、粉砕するメディアをメディア投入口に入れてから引き出しを閉じます。(最大2個)
6. スタートボタンを押して粉砕を開始します。
7. 投入したメディアが完全に細断されるまでお待ちください。
8. シュレッダーを停止する場合は、停止ボタンを押すか、メディア投入口を開きます。
別のシュレッダー停止方法は下記「注意」の箇所を参照、シュレッダーの再起動の方法は以下「危険」の箇所を参照下さい。
9. 別のメディアを粉砕する場合は、メディア投入口にメディアを入れてスタートボタンを押して作業を進めます。
10. シュレッダー作業を終了する場合は、メインスイッチでシュレッダーをオフにして下さい。

注意: 投入できるメディアは最大2個

注意!

シュレッダーは、下記ボタンでいつでも停止できます。

- 停止ボタン
- 緊急停止ボタン
- メインスイッチ

危険!

メディア投入口を開く、もしくは、緊急停止ボタンを押すと、シュレッダーブレードが停止し、停止ボタンが点灯します。シュレッダーを再起動するには、メディア投入口を閉じて停止ボタンを押した後、スタートボタンを押します。

※) 粉砕物収納扉を開いてもシュレッダーブレードは停止しません。



6. 動作上の注意点

- ・START ボタンを押してから、20秒位経っても大きな音がして粉碎が始まらない場合は、一旦、STOP ボタンを押して、ハウジングロックを緩め、メディア投入上部ハウジングを開け、メディアが粉碎しているかどうか確認してください。メディアが粉碎されていない場合は、メディアを他の方向を変更するなど位置を修正してください。変更後は蓋を閉め、安全を確認した後、再びSTART して下さい。
- ・カラカラと言う音がして内部で引っ掛かっていると思われる場合、紙のシュレッダーの様にSTOPボタンを押してからREWボタン、FWDボタンを何回か反復して、内部の詰まりを解消させた後、再びSTARTボタンを押して、粉碎を再開して下さい。
- ・粉碎後のメディアは粉碎物収納容器に落ちます。粉碎物が貯まると重くなり破棄する作業に負担がかかります。堆積量を見ながら、処分してください。
- ・電源を切る前には、START ボタンを押して、30秒位、内部で処理中の残留物が残らない様にした方がカッティングブレードへの負担が少なくなります。REWボタンも併用すると残留物は残りにくくなります。

7. 安全上のご注意点

初めての操作時、保守前に本操作マニュアルを必ずお読みください。

操作マニュアルは、紛失しないよう大切に保管してください。

シュレッダーを安全に操作するには、本機の仕様に準拠した主電源に接続する必要があります。シュレッダーと主電源との接続は、仕様確認の上十分注意頂きながら行ってください。

- ・フィーダートレイに粉碎するデバイス以外の異物を入れて、シュレッダーのブレードを傷めないようにしてください。シュレッダーブレードの詰まりを解消する場合は、メインスイッチでシュレッダーの電源を切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから取り外してから作業を行ってください。
- ・フィーダートレイに爆発の危険性のあるバッテリー（充電式および非充電式のもの）、電気コンデンサー、圧力容器等を入れしないでください。
- ・火災や高湿度の危険性がある場所でシュレッダーを操作しないでください。
- ・シュレッダーは、緊急停止スイッチを備えています。シュレッダーのオペレーターまたはシュ

レッター本体に危険がある場合は、緊急停止スイッチを押してください。

シュレッダーを再起動する場合は、緊急停止スイッチを引き上げた後、操作コントロールパネルの停止ボタンを長押しすると解除されます。

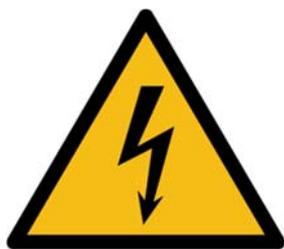
- シュレッダーのメンテナンス作業は、シュレッダーの電源を切り、電源からプラグを抜く必要があります。
- シュレッダーを長期間使用しない場合は、電源コードを主電源から抜いてください。
- 主電源が停止、実行中にシュレッダーが誤ってオフになった場合は、メインスイッチを操作して電源入力を遮断し、シュレッダーを供給電圧から分離します。主電源が復旧したら、シュレッダーをオンにして再起動します。
- 調整、保守、修理、または検査を行う際は、必ず電源コードを主電源から抜いてシュレッダーを供給電圧から隔離し、シュレッダーが冷えるまで待ちます。
- シュレッダー動作中は、シュレッダーの全てのドア、メディア投入口を開けないでください。
- メディア投入口は、細心の注意を払って開閉してください。特にシュレッダーのドライブが動作している場合は、メディア投入口から手を離してください。
- HDDディスクの粉碎作業は、5時間の連続操作後、本機の操作を一端中断することをお勧めします。他のメディアの場合、この時間は7時間に延長できます。デバイスを冷却するために30分の休憩後、作業を再開してください。

■カッティングブレード用オイルの取り扱いについて:



- オイルには、軽質留分と重質留分が含まれています。
- 飲み込んで気道に入ると致命的となる可能性があります。
- 飲み込んだ場合:直ちに毒物センターまたは医師に連絡してください。嘔吐を誘発しないでください。
- オイルは、鍵のかかる場所に保管してください。

8. メンテナンス



危険!

機械の取り扱いを誤ると、感電する恐れがあります。

移動、清掃、メンテナンス前に機械の電源を切ってから電源プラグを抜きます。

メンテナンスは、電源プラグを抜いてから最低30秒待機してから開始してください。

機械のメンテナンスは、取扱説明書を理解して、十分、注意しながら行って下さい。

モーターは少なくとも10,000運転時間ごとに検査する必要があります。

1) デバイスの移動について

- デバイスの電源を切ります。
- 電源プラグを外します。
- 電源コード収納部に電源コードを巻き上げて入れます。
- ドロップ車輪を下げるには、22mmソケット付きのラチェットソケットレンチを使用します。
- ラチェットレンチを反時計回りに回して、ドロップ車輪を下げます。
- 水準器を使用してホイールアライメントを決定します。



ドロップ車輪が下がっている時は、シュレッダーを使用しないでください。

2) カuttingブレードへのオイル塗布の手順: 毎作業前にオイルを塗布してください。

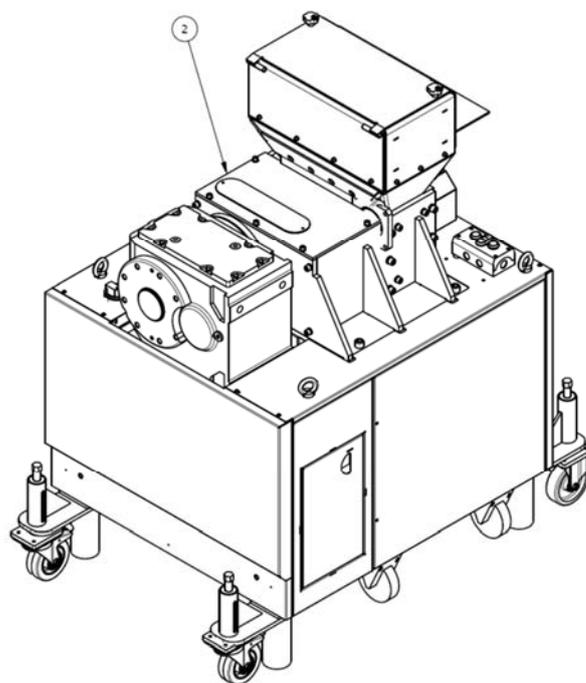
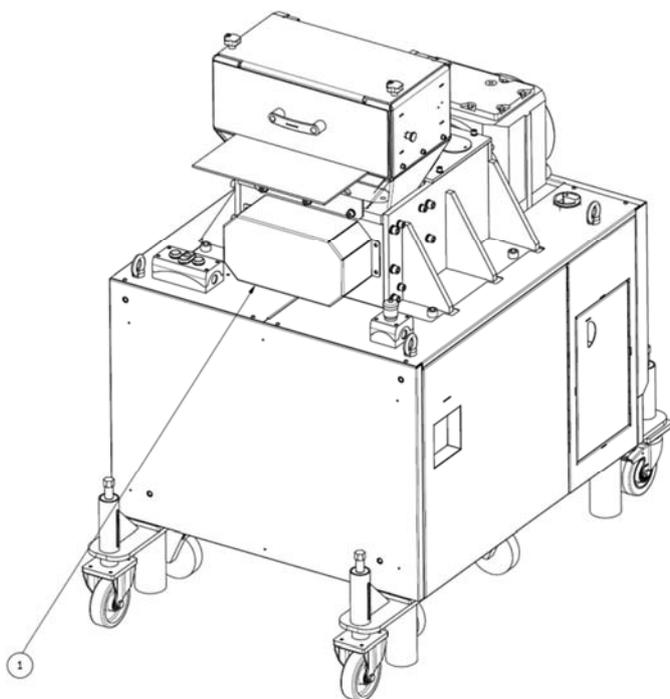
- デバイスの電源を切ります。
- メディア投入口を開きます。
- スプレーを使って少量のオイルをCuttingブレードに塗布します。
- メディア投入口を閉じます。
- デバイスの電源を入れます。
- 機械をリバースボタンで動作させます。



3) ベアリングへの潤滑油の塗布:

潤滑点は、下図2箇所にあります。①と②

シュレッダーに潤滑油を塗布する準備の詳細は、次のページに進んでください。





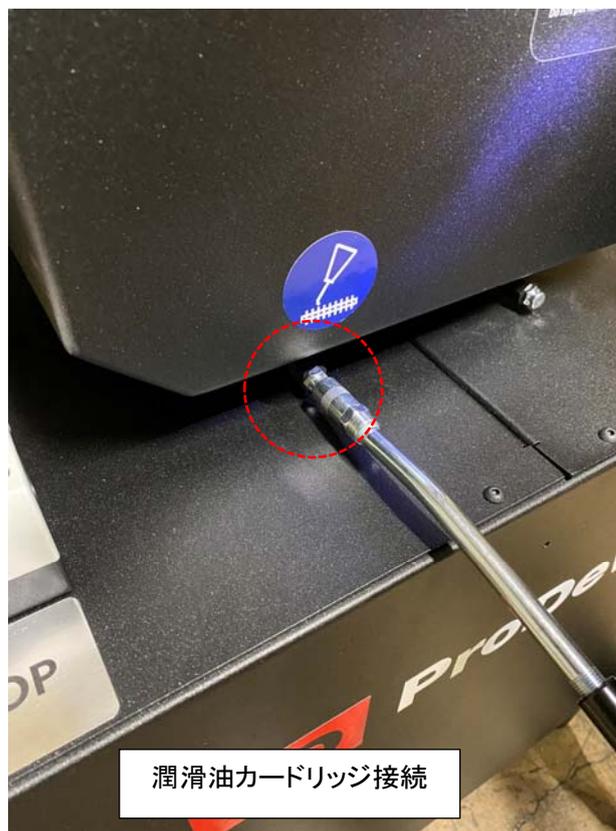
潤滑点にはこの記号が表示されています。

1. 潤滑点の位置 1:

- デバイスの電源を切ります
- 電源プラグを外します。
- 注油機を潤滑ポイントの1つに接続し、潤滑油を塗布します。
- 2番目の潤滑点で同じ手順を繰り返します。
- 注油機を外し、シュレッダーを操作します。



潤滑点の位置1



潤滑油カードリッジ接続

2. 潤滑点の位置 2:

- デバイスの電源を切ります。
- 電源プラグを外します。
- クラッチアッパーカバーを取り付けているボルトを慎重に取り外し、横に置きます。
- 注油機を潤滑ポイントの1つに接続し、十分な量の潤滑油を塗布します。
- 2番目の潤滑点で同じ手順を繰り返します。
- 注油機を外し、クラッチアッパーカバーを閉じます。
- シュレッターを操作します。



ハウジングコンポーネントのいずれかが開いている時にシュレッターを使用しないでください。

潤滑油は、3か月ごとに塗布する必要があります。

お問合せ先

株式会社 磁気研究所

東京都千代田区神田佐久間町1-17

TEL: 03-3253-5811